

親と子の読書活動等に関する調査(抜粋)

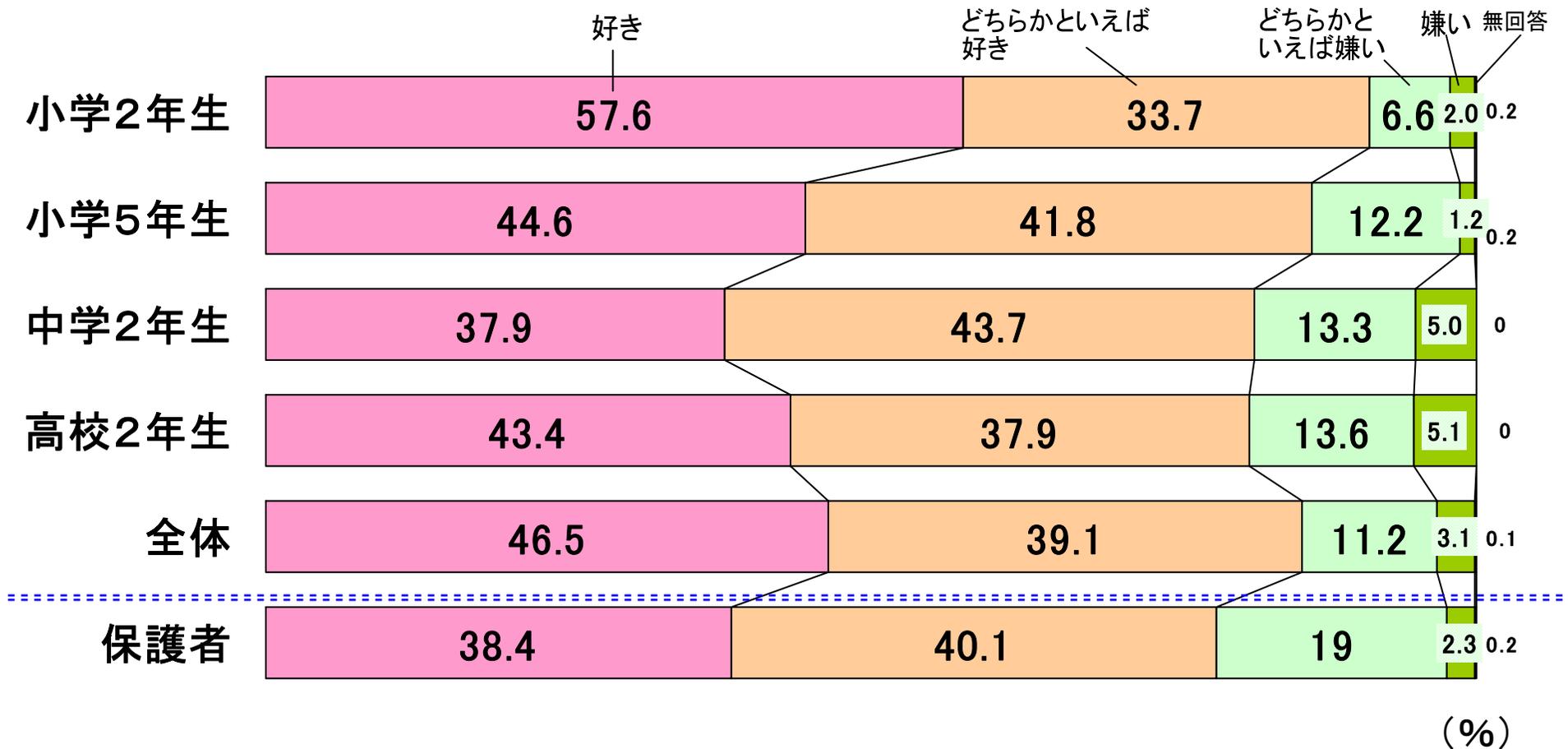
(平成16年度)

財団法人 日本経済研究所

平成16年度文部科学省委託事業
図書館の情報拠点化に関する調査研究

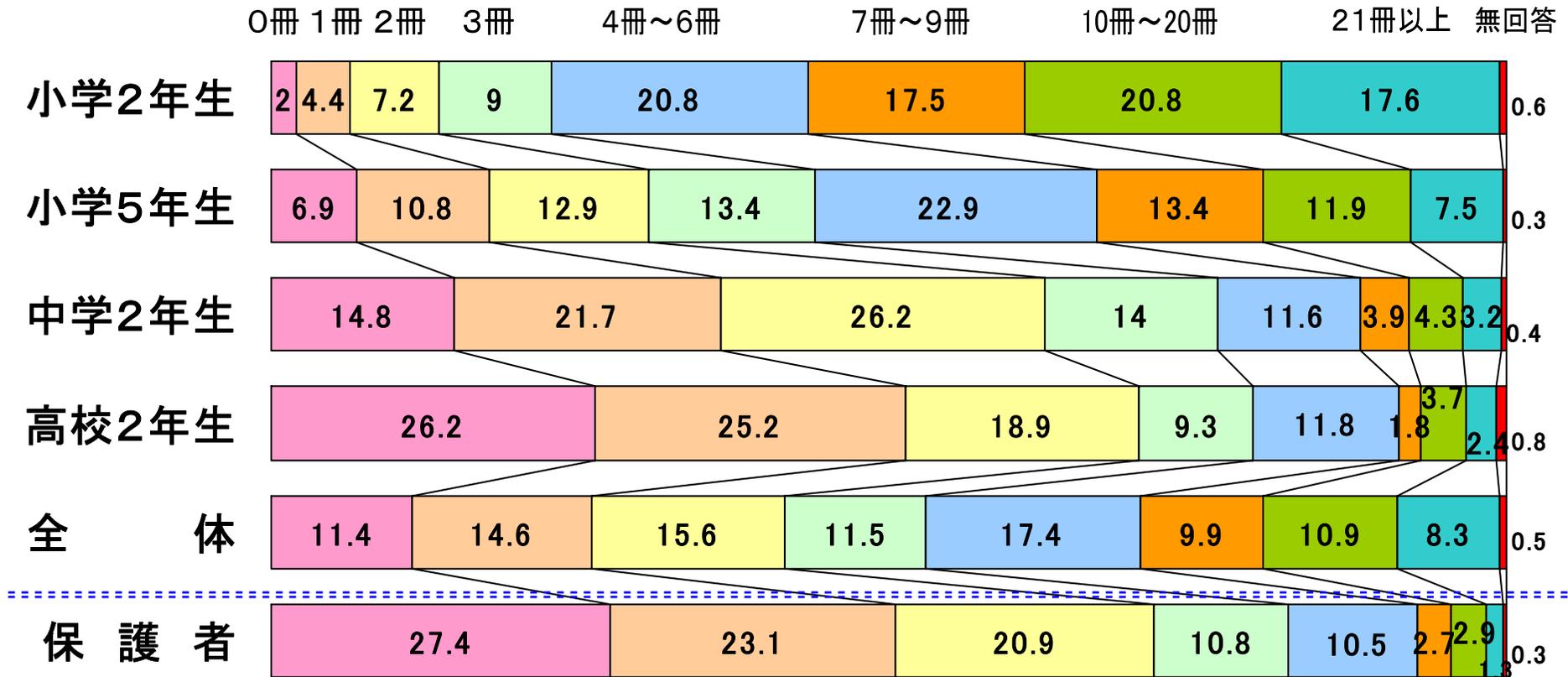
年齢とともに、読書について「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」と回答する割合が高くなっている。

本を読むことについて



年齢とともに一ヶ月に一冊も本を読まない割合が増える。

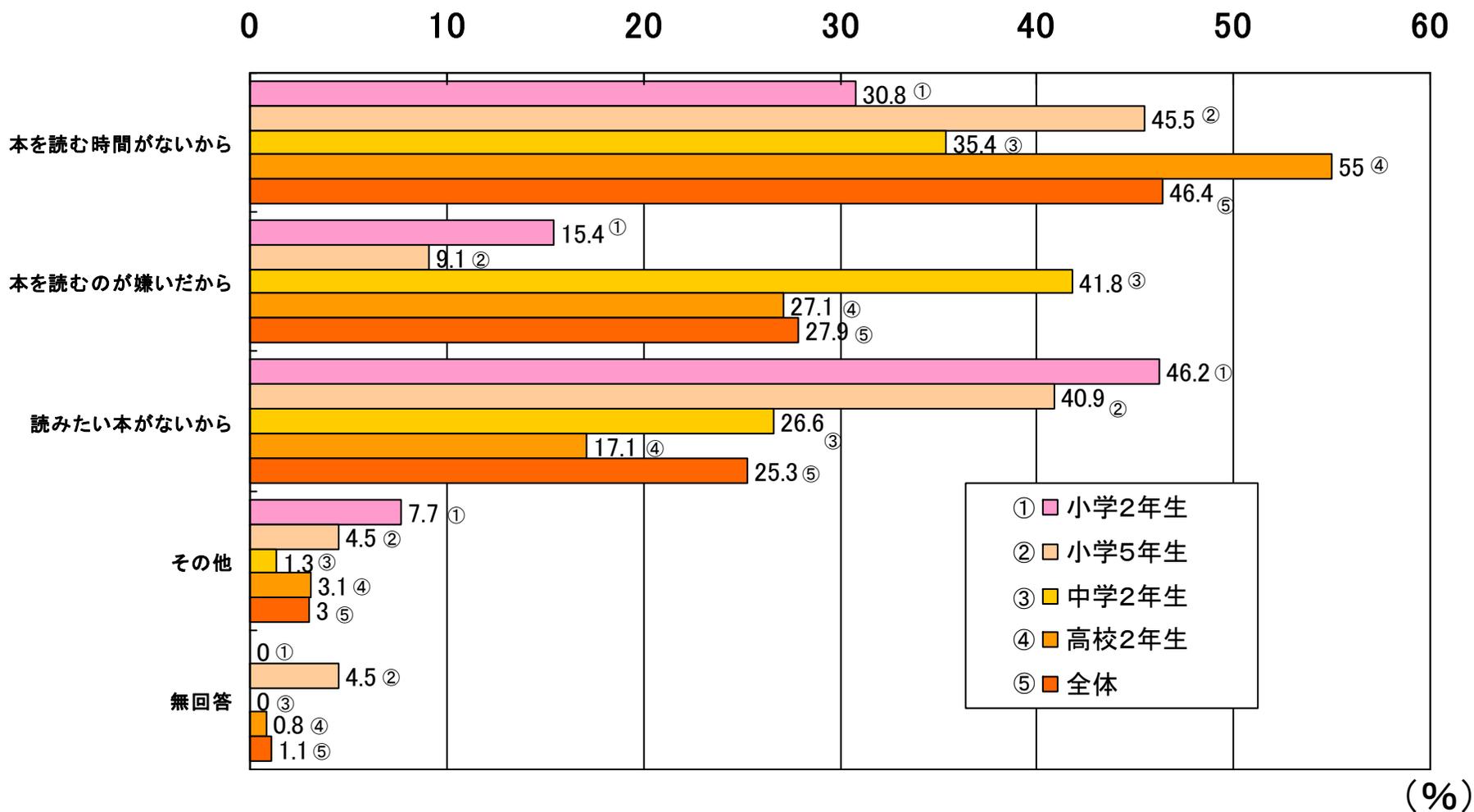
一か月に読んだ本の数



(%)

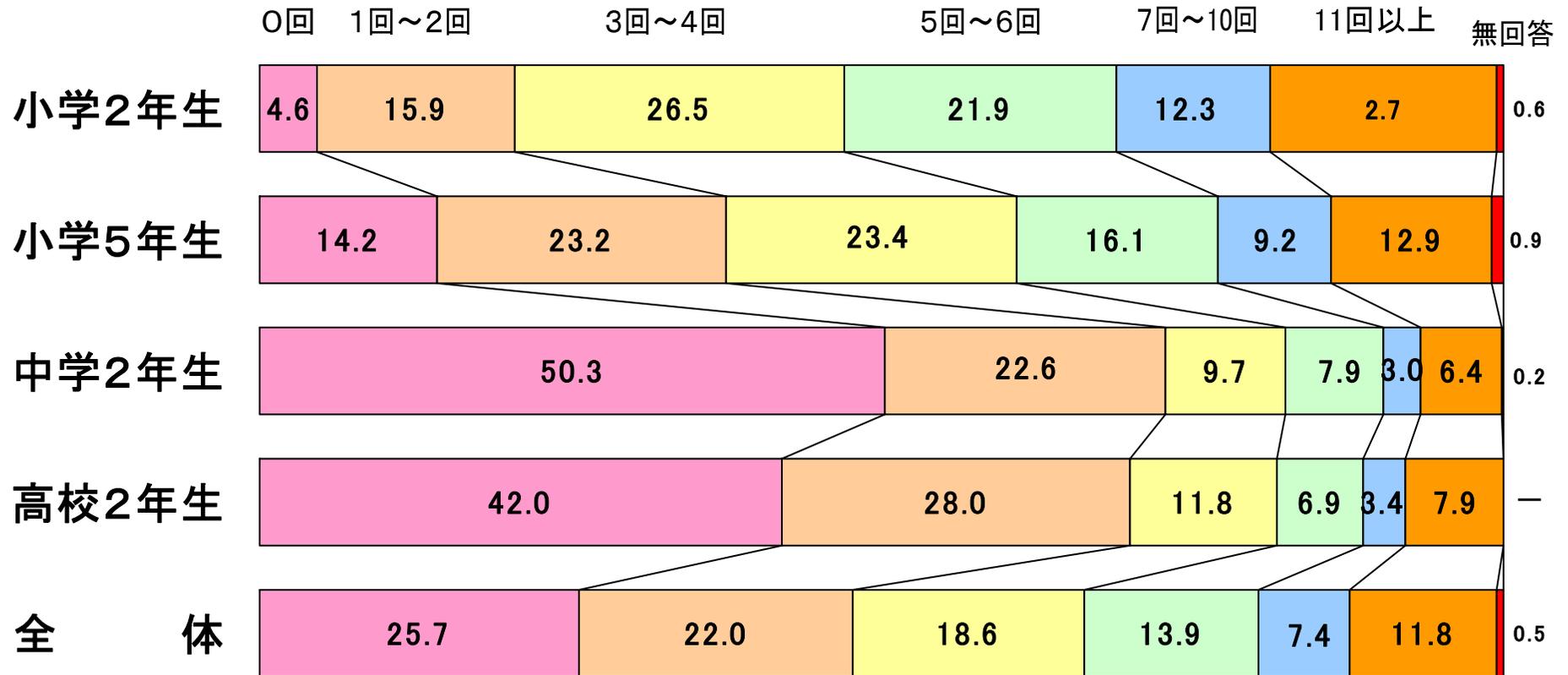
不読者の多い高校生では、本を読む時間がないことについて、
 中学生においては、本を読むことの好き・嫌いについて
 小学生においては、読みたい本がないことについて、それぞれ課題がある。

本を読まなかった理由



中学生の半数は学校図書館に行っていない。

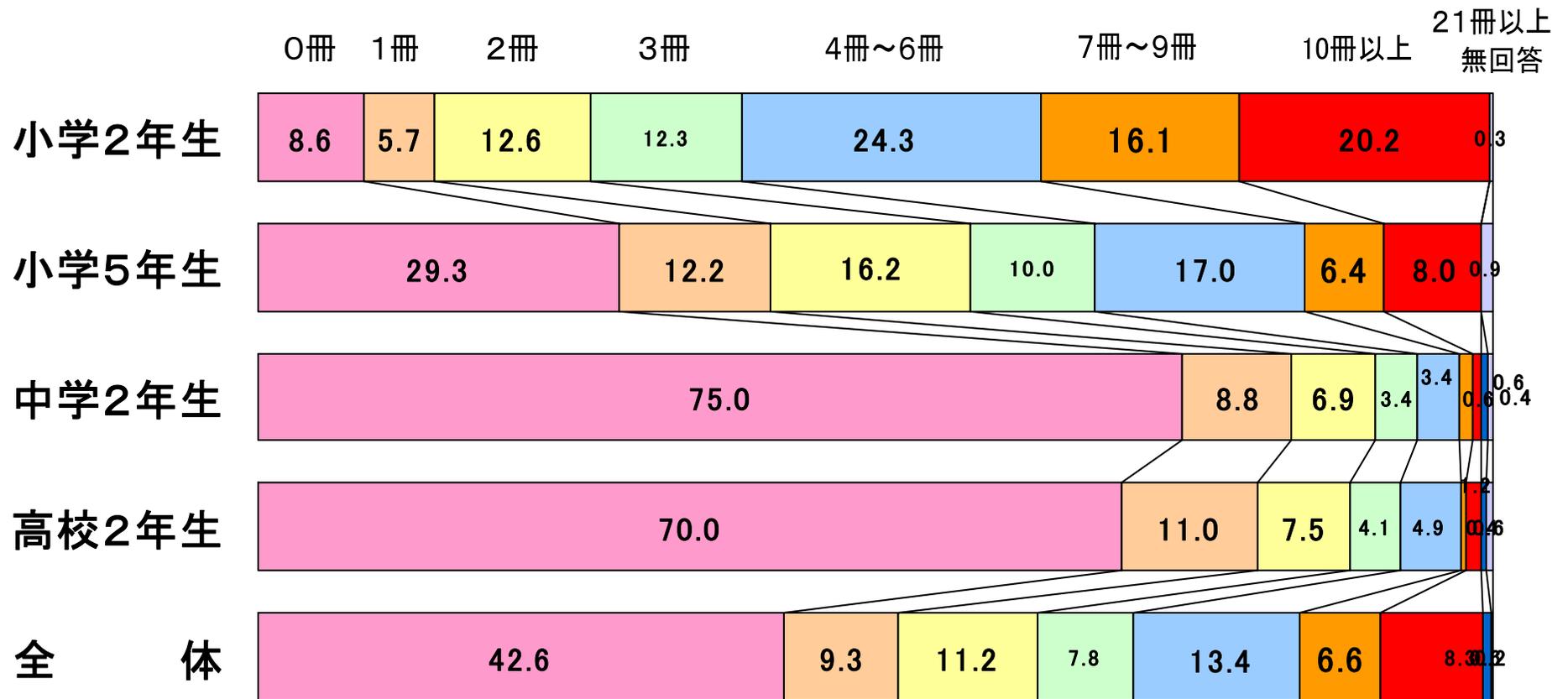
一か月の間に学校の図書館に行った回数



(%)

中学生、高校生のおお半は学校図書館から本を借りない

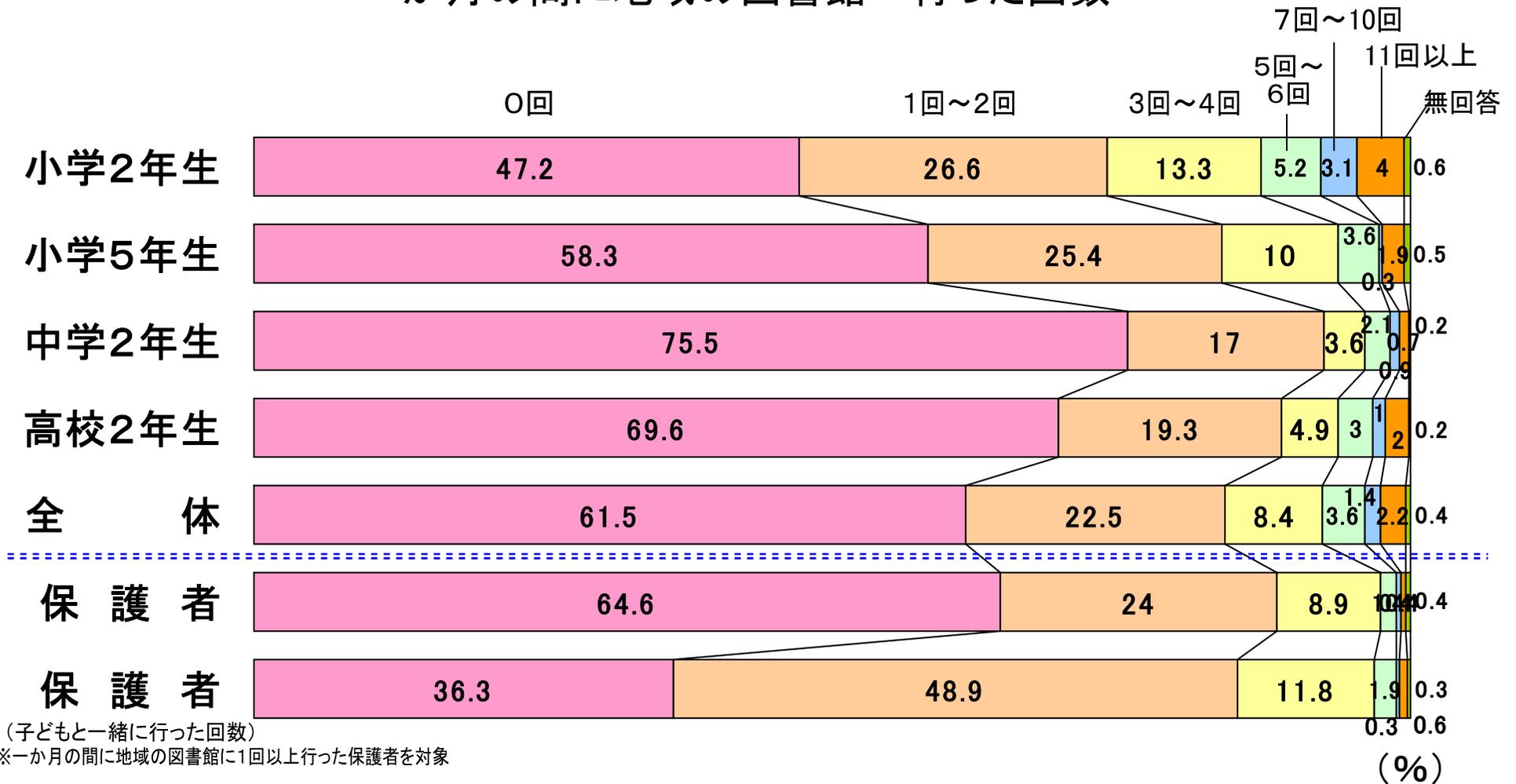
一か月の間に学校の図書館から借りた本の数



(%)

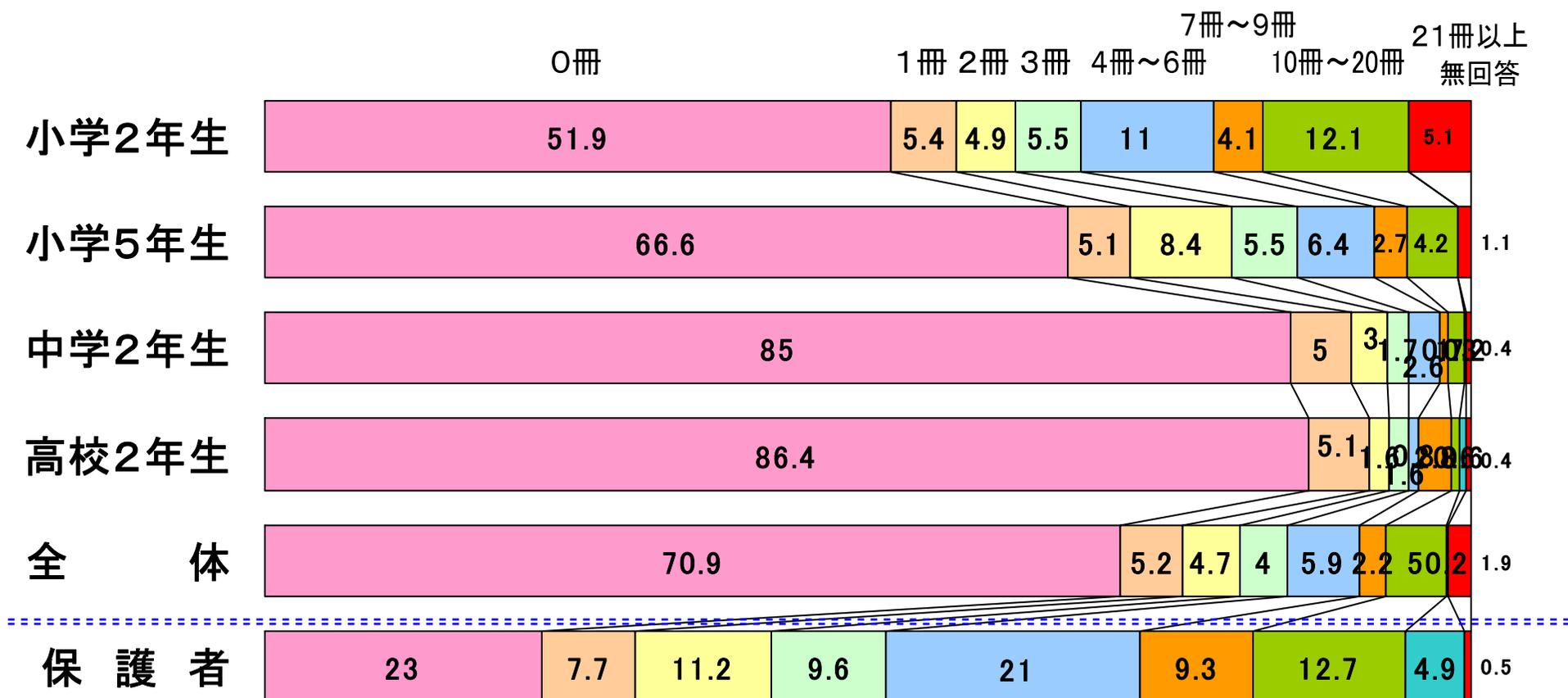
中学生、高校生は地域の図書館をあまり活用していない①

一か月の間に地域の図書館へ行った回数



中学生、高校生は地域の図書館をあまり活用していない②

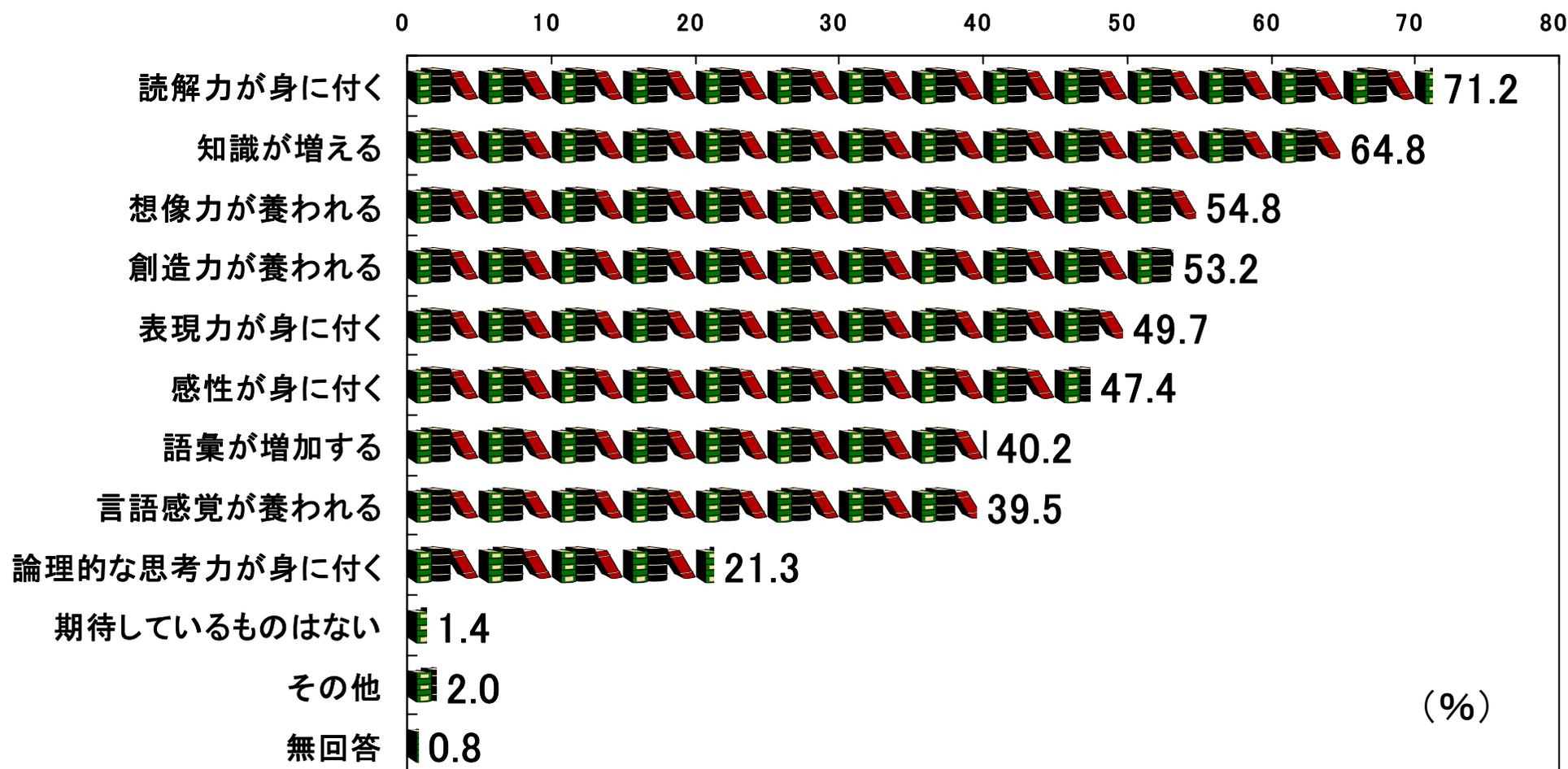
一か月の間に地域の図書館から借りた本の数



(%)

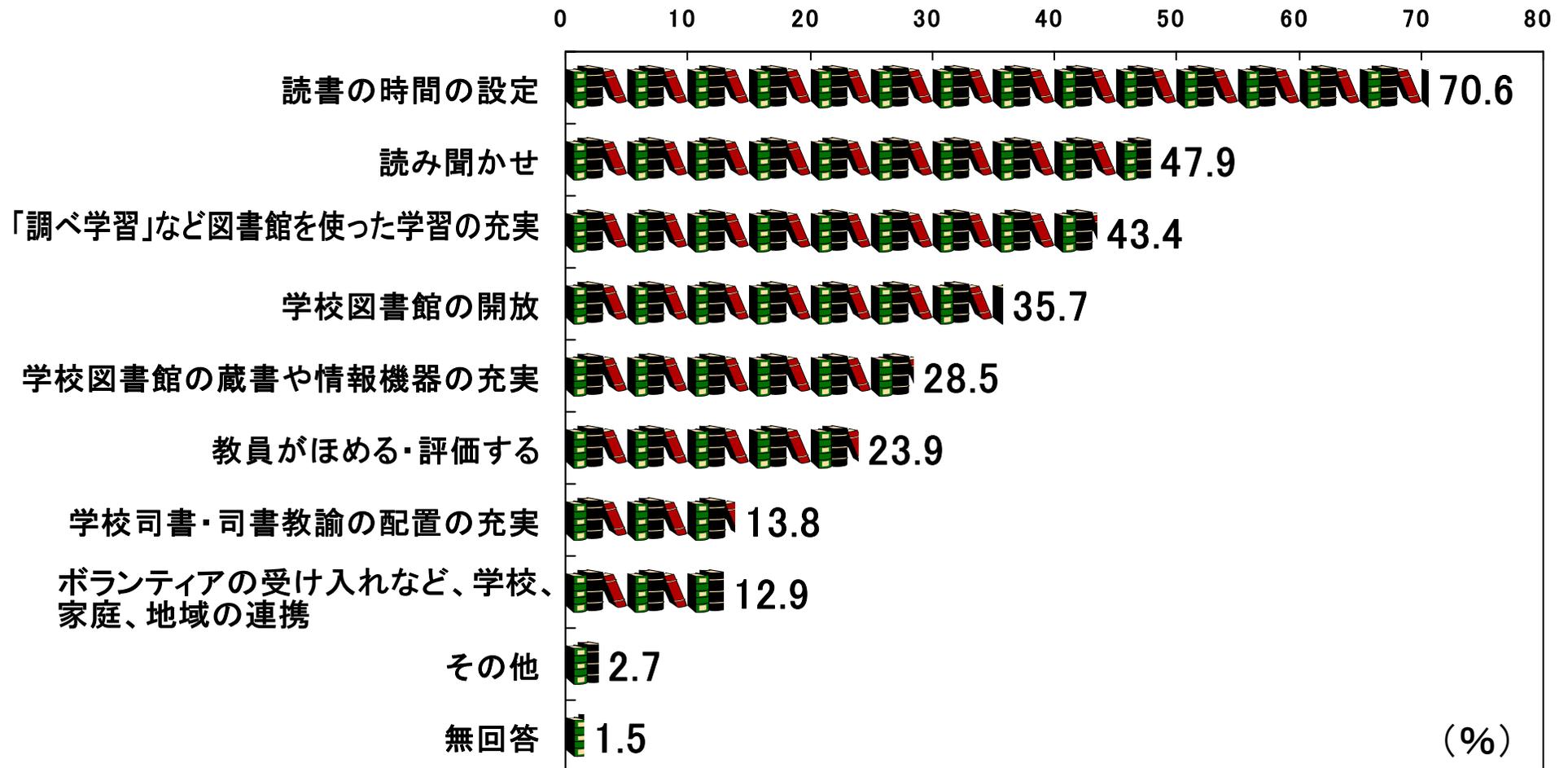
読書の効果への期待は高い

子どもの読書に対して期待すること(保護者)



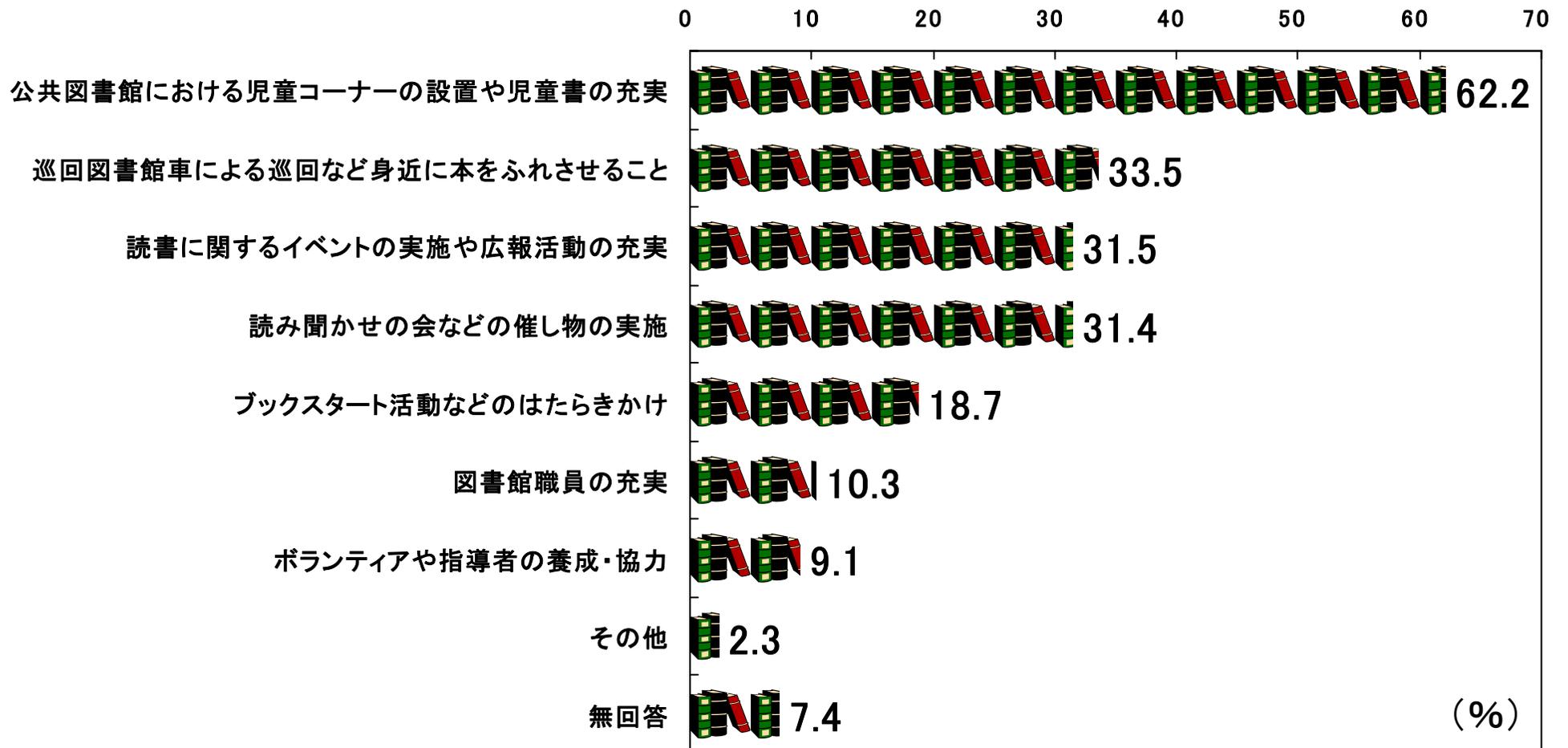
学校における、読書の時間設定や読み聞かせをする取組についてのニーズが高い

子どもの読書活動を推進するために必要なこと<学校での活動>(保護者)



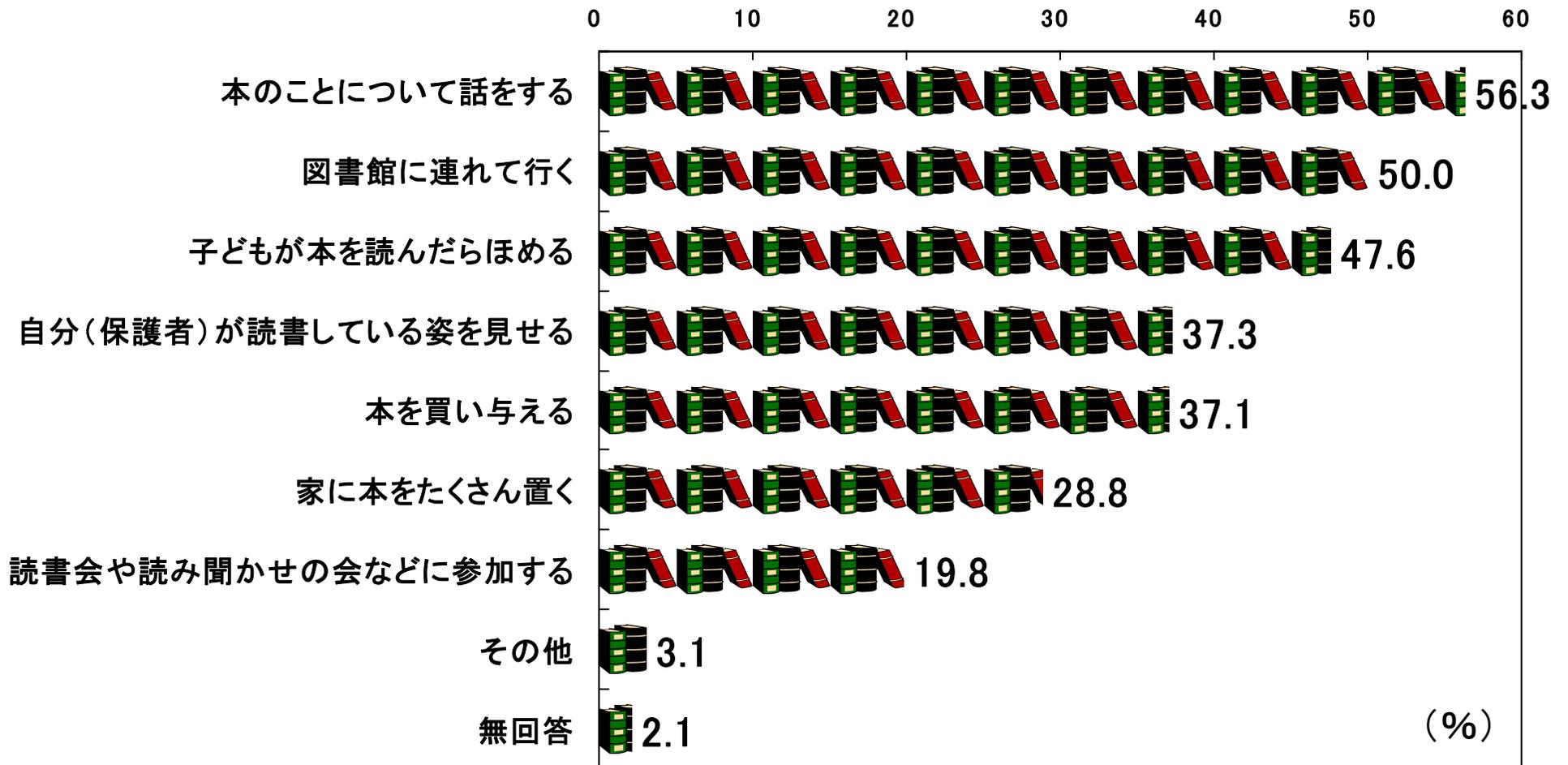
地域においては公共図書館における児童コーナーの設置や児童書の充実、移動図書館などによる読書環境の充実が期待されている

子どもの読書活動を推進するために必要なこと<地域での活動>(保護者)



家庭において、「本について話をする」ことや「図書館に連れて行く」ことが重視されている

子どもの読書活動を推進するために必要なこと<家庭での活動>(保護者)



家庭において、身近なところに本を置いたり図書館に連れて行く取組をする家庭の子どもは比較的本を好きになる

本を読むことが好きと回答した児童・生徒の割合（読書活動推進項目の実施状況別）

